

黄斑外来

眼科では黄斑外来を新たに設け、蛍光眼底造影検査（HRA II）、光干渉断層計（OCT）などを用いてさまざまな黄斑疾患の診断を行い、症例に応じて薬物治療や硝子体手術を選択しています。また【眼内新生血管、黄斑浮腫を併発する難治性眼疾患に対するベバシズマブ硝子体投与】や【中心性脈絡網膜症に対する光線力学療法（PDT）】等の保険外治療に関しても当院倫理委員会の承認を得、同意を得られた患者様に行っております。

➤ 対象疾患

加齢黄斑変性

黄斑浮腫（網膜静脈閉塞、糖尿病網膜症）

中心性漿液性脈絡網膜症

強度近視性黄斑疾患

黄斑円孔

黄斑前膜 等



共焦点レーザー走査型眼底検査装置（HRA II）

➤ 診療内容

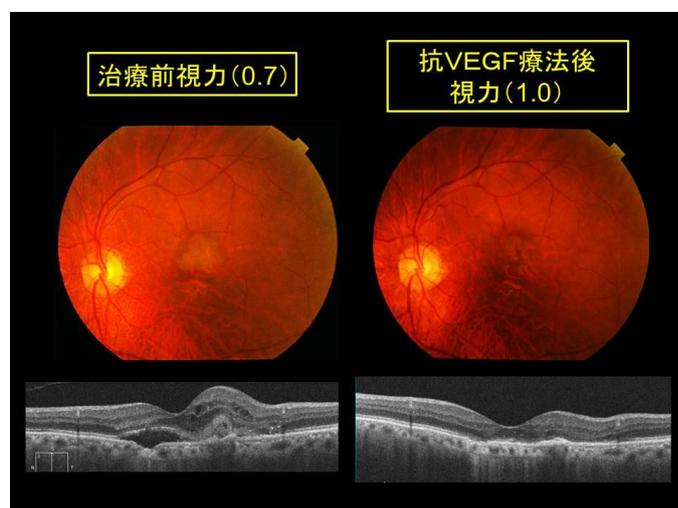
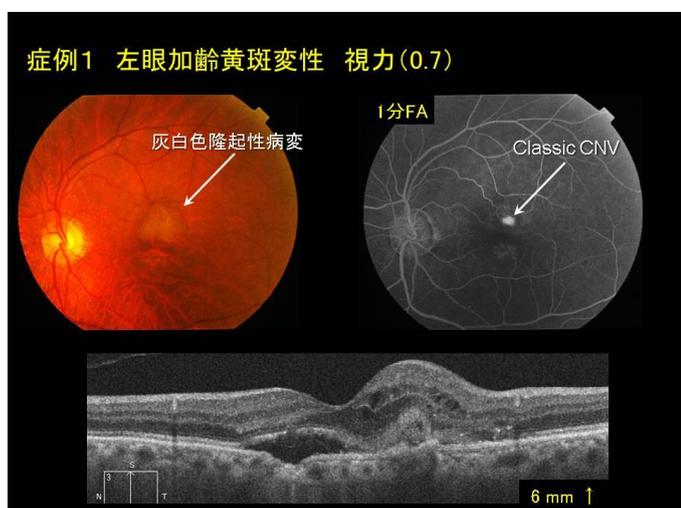
1. 加齢黄斑変性に対する抗 VEGF 療法、光線力学療法（PDT）および併用療法
2. 網膜静脈閉塞の黄斑浮腫に対する抗 VEGF 療法
3. 糖尿病黄斑浮腫に対するステロイドまたは抗 VEGF 療法
4. 黄斑下血腫に対する硝子体内ガス注入
5. 中心性漿液性脈絡網膜症に対する半量光線力学療法（PDT）
6. 黄斑円孔、黄斑前膜に対する硝子体手術
7. 保険適応外の疾患に対するベバシズマブ（アバスチン）硝子体投与



光線力学療法(PDT)専用レーザー

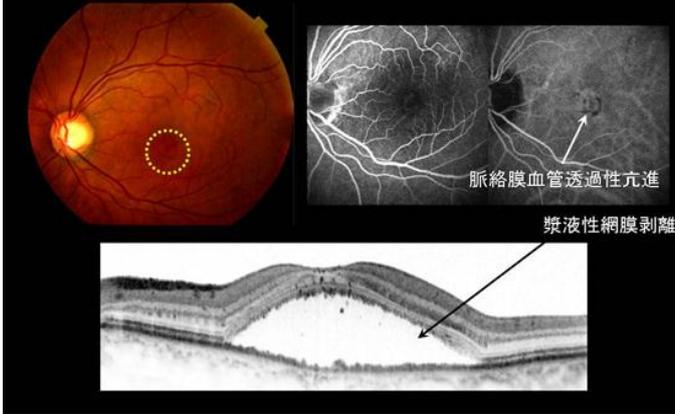
➤ 受診にあたって

眼科では、眼内新生血管、または黄斑浮腫を併発する難治性眼疾患に対しても、先進的な治療に積極的に取り組んで参ります。受診につきましては、当院病診連携室を通じて黄斑外来のご予約をお取りいただけます。



症例 1：左眼加齢黄斑変性の方に抗 VEGF 薬を計 3 回硝子体注入を行いました。網膜の滲出性変化は消失し、視力が改善しています。

症例2 左眼中心性漿液性脈絡網膜症 視力(0.6)



治療前 視力(0.6) PDT 1週後 視力(0.7) PDT 3ヵ月後 視力(1.0)



症例 2 : 左眼中心性漿液性脈絡網膜症の方に光線力学療法 (PDT) を行いました。漿液性網膜剝離は消失し、視力が改善しております。